

令和8年度 総合指針重点事業評価表

1 基本情報

重点事業名	生活・文化拠点再整備費	所管課	企画政策課
まちづくりテーマ	重点施策名		
5.未来を見据えてみんなで進める	次世代につなげる生涯学習施策の推進		

2 重点施策概要・指標

事業目的及びその背景(必要性、社会情勢等)			
老朽化した市民会館及び旧南市民図書館の建て替えに合わせ、市民ギャラリーや文書館等の公共機能を複合化して、奥田公園を含む生活・文化拠点エリアを整備するとともに、周辺の内水浸水リスクの低減を図るため、内水浸水対策施設を整備する。 施設整備や運営・管理を取り巻く環境については、人件費の上昇や物価高騰、人手不足等、厳しい状況が続いている。このことから、民間市場の状況を的確に把握した、公民連携による事業推進が求められている。			
事業実施の有効性、必要性を示す具体的な数値等(EBPM)			
公共施設再整備の観点から、機能集約・複合化による施設数・床面積の縮減や運営管理費の低減等を図る。			
2028年又は事業終了時の望ましい姿			
供用開始後は、多彩な活動を生み出すきっかけを作る場となり、成長と共創が持続する未来を実現するとともに、周辺を含めたエリアの価値が向上している。			
20年後(2045年)の基本目標等への寄与状況			
市民会館等を再整備することにより文化活動等が盛んになり、基本目標2に示す「郷土への誇りや愛着を実感できる都市」の実現に寄与する。			
関連の深い「市民意識調査結果」	令和5年度	令和6年度	令和7年度
公共施設を次世代のために、より良い状態で引き継いでいると感じますか？	2.71	2.79	2.83
把握した市民等のニーズとその対応			
これまでに把握した市民や団体等の意見を踏まえ、民間事業者のノウハウとアイデアを積極的に取り入れながら、管理・運営計画及び基本設計の検討を進めている。			

3 まちづくりコンセプトとSDGs

まちづくりコンセプトとの整合性とその理由	
まちづくりコンセプト	■サステナブル藤沢 ■インクルーシブ藤沢 ■スマート藤沢
様々な公共機能を複合化すること等を踏まえ、すべての視点を取り入れていく必要がある。	
貢献する主なSDGsのゴール	
①	質の高い教育をみんなに
②	住み続けられるまちづくりを
③	パートナーシップで目標を達成しよう

令和8年度 総合指針重点事業評価表

1 基本情報

重点事業名	デジタル推進事業費	所管課	デジタル戦略課
まちづくりテーマ		重点施策名	
5.未来を見据えてみんなで進める		デジタル市役所・スマートシティの推進	

2 重点施策概要・指標

事業目的及びその背景(必要性、社会情勢等)			
現在国は、デジタル庁を設置するなど行政のデジタル化に向けて急速な改革を進めている。各自治体においても2040年問題への対応や内部事務の効率化、市民の利便性の向上など、デジタル市役所の実現に向けた取組が必要である。また、人口減少、少子超高齢化、自然災害の激甚化など、さまざまな社会課題が深刻化するなかで、限られた人員や財源で持続可能なまちづくりを実現するためには、デジタル技術など新しい技術を活用したデジタル市役所の推進が必要である。			
事業実施の有効性、必要性を示す具体的な数値等(EBPM)			
DX推進計画改定に関するアンケート調査において、「藤沢市が『最先端テクノロジーを活用した安全安心で暮らしやすいまち』としてどれくらい実現できていると感じますか」という設問に対して11段階評価において4.23点とあり、特に30～50代のデジタルに慣れ親しんでいる層や、行政手続きが多くなる子育て世帯を中心に評価が低い傾向にある。また、分析の結果、市民から改善を求められている取組として「時間や場所を選ばず行政手続きができる」「行政の持つ様々なデータを市民が活用できる」が挙げられた。			
2028年又は事業終了時の望ましい姿			
デジタルを活用して市民の利便性の向上や内部事務の効率化を図り、「どこでも」、「ピットリ」、「簡単」なデジタル市役所の実現に寄与する。			
20年後(2045年)の基本目標等への寄与状況			
基本目標8「多様な主体との共創が生み出される地域づくりを進める」の達成にあたり、市民の利便性を高めるため、各種行政手続のオンライン化を推進するなど、必要な市民サービスが、いつでもどこでも受けられる環境づくりに向けて、デジタル市役所を推進できた。			
関連の深い「市民意識調査結果」	令和5年度	令和6年度	令和7年度
インターネットの活用などにより、さまざまな行政手続きが便利になっていると感じますか？	2.99	3.12	3.24
把握した市民等のニーズとその対応			
令和6年度から開始したデジタルプラットフォーム構築は、子育て中の世代に向けた情報の集約や、サービスのオンライン化を皮切りに、障がい者支援や公共施設予約システムなど、市民の利便性向上に資するサービスの実装など、段階的な機能拡張を進めている。より便利で分かりやすい行政サービスの提供を目指し、継続的に拡充・拡大を進め、より多くの市民が、快適かつ効率的に市サービスを利用・活用できる環境を実現する。			

3 まちづくりコンセプトとSDGs

まちづくりコンセプトとの整合性とその理由	
まちづくりコンセプト	□サステナブル藤沢 □インクルーシブ藤沢 ■スマート藤沢
デジタル市役所の実現を目指した施策の推進を目的とした事業である。	
貢献する主なSDGsのゴール	
①	産業と技術革新の基盤をつくろう
②	住み続けられるまちづくりを
③	パートナーシップで目標を達成しよう